

2年ぶり2回目の全国大会出場決定!

経スポ



5月24日～30日に全日本大学選手権大卒選が行われた。4月11日～5月17日に行われた西日本大会の予選も兼ねるリーグ戦では、ブロック位に滑り込み、一足先に西日本大学選手権大会への出場を決めた大阪経済大学ソフトボール部。全日本の同時出場を狙い、負けを終わりのトーナメント戦に臨んだ。5月24日の1回戦(勝利すればこの日にはダブルヘッダーとなる)回戦も行つ日程だった。1回戦の関西学院戦では、10～10と快勝することが出来たが、2回戦は大阪府立大学と戦った。2回戦は、大阪府立大学と戦った。選手たちには、疲れが残っていたと思うが、それらを感じさせない粘り強い戦いを見せてくれた。3回まで0～0と息詠ま投手戦を展開してきた両チームだったが4回裏、相手打線に捕まり4点を失うが、5回表経大打線も黙っておらず、藤浦続木のタイムリーなどで4点を返し、すさまじ振り出しに。しかし、その後は順調に得点していく相手打線を前に最終回6～4と2点を返し、追いかけの厳しい展開。先頭の3番藤浦、4番横尾がノーアウトで出塁し、1点を返したもの、後続が倒れ、1アウェー3塁。打席には7番峯林。「こういう場面は何度も味わってきた。緊張したが自信があった。」そこ

大阪経済大学ソフトボール部は、う振り返った峯林の打球は、三遊間を鋭く抜き同点タイマーとなつた。土壇場で追いつき流れは絶対に延長8回には、丸山の本塁打で得点し、その裏の反撃を1点に抑えて8～7で勝利し、インカムを決めた大阪経済大学ソフトボール部。全日本の同時出場を狙い、負けを終わりのトーナメント戦に臨んだ。5月24日の1回戦(勝利すればこの日にはダブルヘッダーとなる)回戦も行つ日程だった。1回戦の関西学院戦では、10～10と快勝することが出来たが、2回戦は大阪府立大学と戦った。選手たちには、疲れが残っていたと思うが、それらを感じさせない粘り強い戦いを見せてくれた。3回まで0～0と息詠ま投手戦を展開してきた両チームだったが4回裏、相手打線に捕まり4点を失うが、5回表経大打線も黙っておらず、藤浦続木のタイムリーなどで4点を返し、すさまじ振り出しに。しかし、その後は順調に得点していく相手打線を前に最終回6～4と2点を返し、追いかけの厳しい展開。先頭の3番藤浦、4番横尾がノーアウトで出塁し、1点を返したもの、後続が倒れ、1アウェー3塁。打席には7番峯林。「こういう場面は何度も味わってきた。緊張したが自信があった。」そこ



【全国大会出場までの戦績】

[1回戦]	5月24日(日) VS 関西学院大学	10-0
[2回戦]	5月24日(日) VS 大阪府立大学	8-7
[最終戦]	5月30日(水) VS 大阪大学	12-5

全国大学選手権出場! ソフトボール部大躍進!

発刊:大阪経済大学
スポーツ・文化振興課 経

VOICE

田中 健吾 (ソフトボール部 部長)
今年の三回生が入学した年、私たちソフトボール部は初めてインカムに出場しました。そして昨年、西日本インカムで、初めて勝利することができました。今年は、西日本インカムで勝てるかでこれからソフトボール部が変わっていくと思います。先輩達が作つてくれた伝統に責任をもち、そして私たちが新しい伝統を作るという強い気持ちで今年一年戦っていきます。

秋田 慎一朗 (ソフトボール部 主将)
私が二回生の時に出場した全日本選手権では、一回戦敗退という悔しさを味わいました。その悔しさを味わっているからこそ、それよりも高いものを目指して取り組むことができました。そんな私たちは最高学年になつた今、全国の舞台でまた戦うことができます。後輩年、方がより高いものを目指せるように過去の大卒選手権での成績を残したいと思います。ソフトボール部の応援を宜しくお願ひします。

